

民医連報

愛媛県民主医療機関連合会

2012年6月20日

発行：不定期

TEL 089-990-8677



愛媛民医連第26回定期総会開く！

～法人・事業所の力を寄せ合い、人権感覚の豊かな職員育成を進め、

県民要求に応える医療・介護の事業と運動を広げよう！

6月17日(日)、代議員43名、理事19名、オブザーバー1名の63名が参加して、第26回定期総会が開催、運動方針と決算・予算を決定し新役員を選出しました。

谷井実会長が、貧困と格差が広がる中、協立病院と生協病院で無料低額診療を開始した。認定件数は少ないが、もっと広く知らせていこう。県連の医師数は減少し、大変。医学生対策担当者を複数にした。成功させ、医師確保を進めたい。東日本大震災では直後に支援隊を送り出した。民医連の連帯が確信された活動だった。今総会でしっかり議論し、運動を発展させよう、と挨拶しました。

倉田均事務局長が運動方針案、決算・予算案提案を行い、6つの分散会に分かれて議論しました。

分散会では、今の情勢が私たちのまわりにどのように現れているのか、事例に寄り添う医療・介護サービスをどう広げていくか、それを進める職員の育成をどう進めるか、などについて議論されました。



討議では●親の年金だけで娘と孫と一緒に生活していたが、親が入院となり、生活が大変となっている。食事も一日一食だったようだ。●介護保険の認定が低くでるケースが増えており、希望するサービスが使えない事例が増えている。費用負担ができないので、訪問看護を月2回しか受けられない事例もあり、生活状況が見えない事例が増えている。などの貧困の現れや、●医学生、看護学生、薬学生の奨学生活動では横のつながりがつくれる活動を成功させてほしい、入職後も一緒に頑張れる。●働きやすい職場づくりを行うことが重要。何故ここで働いているかを確認しながら日常業務を行うなど工夫しよう。●医療生協らしい行動や組合員と共同して事業や運動に取り組むことが大事だ。などだされました。

新会長に今村高暢医師



民医連に入職して24年目。疾病を生活と労働から捉えようと研修してきた。今も根付いている。

会長となり、この民医連の医療活動を発展させていきたい。愛媛生協病院新病院建設を成功させよう。先達の歴史に学び、新しい意見も取り入れて、事業と運動を成功させ、次の世代にバトンタッチしていきたい。ともに頑張りましょう。

会長	今村高暢	医師	理事	宮本直美	看護師
副会長	谷井実	医師		渡部啓子	事務
	有田孝司	医師		高岡照美	看護師
	倉田均	事務		伊東美佐子	看護師
	酒井悦男	事務		和泉明宏	医師
	竹内裕子	看護師		佐伯和人	事務
事務局長	富長泰行	事務	末光一元	薬剤師	
理事	一色ひとみ	看護師	大西寿美子	栄養士	
	片岡朗	事務	高下博行	事務	
	石井淑子	事務	監査	大場安希子	事務
	森実和樹	医師		篠崎紀美代	事務